

科目名	SCH100: 人間学I			担当教員	丹木 博一, 小林 宏子, 島村 絵里子, 上田 圭委子
開講期	春	分類	必修		

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	人間学Iの概要・目的・進め方・評価法 キリスト教的人間観の特徴・「愛」
2	テーマ1 いのちを支えるものとのかかわり ① 私たちのいのちは何によって支えられているか?
3	テーマ1 ② 生きるために必要なことを満たすために私たちは何をなすべきか?
4	テーマ2 成長発達を促すものとのかかわり ① 成長の過程にはどのようなかかわりがあるだろうか?
5	テーマ2 ② かかわりをとおして自分はどのような成長を遂げたのだろうか?
6	テーマ3 他者へのかかわりと自己理解の形成 ① 私たちのアイデンティティはどのように形成されるのだろうか?
7	テーマ4 他者へのかかわりにおける自由と責任 ① 自由にはどのような種類があるか?
8	テーマ4 ② 自由と責任はいかなる関係にあるか?
9	テーマ5 人生の苦しみの意味と希望 ① 人間は、いかなる苦しみに対し、どのように向き合っているか?
10	テーマ5 ② 人生に苦しみがあことは何を意味するのだろうか?

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	テーマ3 ② 差別にどう向き合えばよいのだろうか?	youtube「青い目、茶色い目」を視聴した上で、moodleに掲示した資料を閲覧し、そこに記した課題を行う。
2	テーマ4 ③ 人間は環境に対していかなる責任を持つのか?	youtube「ローマ教皇が核兵器廃絶へメッセージ」を視聴した上で、moodleに掲示した資料を閲覧し、そこに記した課題を行う。
3	テーマ5 希望を持って生きていく可能性はどこに求められるだろうか?	Youtube「水俣病"真の救済"はあるのか～石牟礼道子が語る～」を視聴した上で、moodleに掲示した資料を閲覧し、そこに記した課題を行う。
4	総まとめ ※期末試験に対するコメント	moodleに掲示する資料および期末試験に対するフィードバックを閲覧し、授業を通して学んだことをまとめる。

科目名	SCH101: 人間学 II (S)				担当教員	アルン・デソーザ
開講期	春	開講時限	月3限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー P.19を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	Introduction: Me, society and God
2	Who am I? My Identity
3	Who is my neighbor?
4	<i>Laudato Si'</i> Chapter 1: What is Happening to Our common home?
5	<i>Laudato Si'</i> Chapter 2: The Gospel of Creation
6	<i>Laudato Si'</i> Chapter 3: The Human roots of the Ecological crisis
7	<i>Laudato Si'</i> Chapter 4: Integral Ecology
8	<i>Laudato Si'</i> Chapter 5: Line of Approach and Action
9	<i>Laudato Si'</i> Chapter 6: Ecological Education and Spirituality
10	Who is God? For me?

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	Workshop: My Role in the Society	Students read "Where the Hell Is God?" and write a book review which includes their reflections/thoughts/analysis related to the topics discussed in the course.
2	"Where the Hell Is God?" (Part 1: Complex Questions)	Students read "Where the Hell Is God?" and write a book review which includes their reflections/thoughts/analysis related to the topics discussed in the course.
3	"Where the Hell Is God?" (Part 2: Possible Answers)	Students read "Where the Hell Is God?" and write a book review which includes their reflections/thoughts/analysis related to the topics discussed in the course.
4	Workshop: Concluding remarks, discussions	Students read "Where the Hell Is God?" and write a book review which includes their reflections/thoughts/analysis related to the topics discussed in the course.

科目名	HST201: 歴史学 A				担当教員	森下 園	
開講期	春	開講時限	火4限	研究室	4202	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	歴史学の諸問題、研究倫理について、まとめ発表のわりあて（追記：本講義は ZOOM で行う予定）
2	歴史学の歴史（1）ヨーロッパの歴史記述
3	歴史学の歴史（3）ランケ史学－近代歴史学の登場
4	歴史学の歴史（4）アナル派－民衆の歴史をどう記述するか
5	歴史学の歴史（5）歴史学の作法－史料批判と先行研究の使い方、レポートについての説明
6	理論（1）西欧哲学の世界観
7	理論（3）言語論的転回が歴史学につぎつけたもの、レポート①提出
8	理論（4）文学とポストコロニアリズム－記述する権力は誰にあるのか、レポート①の講評
9	理論（5）歴史修正主義と社会構築主義－「私たちの歴史」はどうあるべきなのか、レポート②提出
10	歴史学の諸問題のまとめ、レポート②の講評

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	歴史学の歴史（2）中国と日本の史書	Moodle 教材を視聴の上でプリント内容をまとめ、次回授業冒頭での発表を準備
2	研究紹介 マルク・ブロック『王の奇跡』とナタリー・Z・デーヴィス『帰ってきたマルタン・ゲール』	Moodle 教材を視聴の上でプリント内容をまとめ、次回授業冒頭での発表を準備
3	理論（2）構造主義とポスト構造主義－M.フーコーの研究	Moodle 教材を視聴の上でプリント内容をまとめ、次回授業冒頭での発表を準備
4	理論（6）ジェンダーと歴史学－歴史記述者のジェンダーギャップ	Moodle 教材を視聴の上でプリント内容をまとめ、次回授業冒頭での発表を準備

科目名	HST202: 歴史学 B				担当教員	森下 園	
開講期	春	開講時限	金 4 限	研究室	4202	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	歴史学とはどんな学問か、研究倫理について (追記: 本講義は ZOOM で行う予定)
2	史料を読むために (1) 古書体学 史料発表の割り当て
3	史料を読むために (2) 古書冊学、文書形式学、史料の種類について、
4	史料を読むために (4) 図像解釈学と絵画資料
5	歴史とメディア (1) 写本からマス・メディアの登場まで、史料についての発表
6	歴史とメディア (2) 現代メディアがもたらす問題点、史料についての発表
7	歴史教育 (1) 国際歴史教科書問題 -ヨーロッパ、史料についての発表
8	歴史教育 (2) 国際歴史教科書問題 -日本と韓国、史料についての発表
9	歴史教育 (3) 英国の歴史教育、レポート提出
10	歴史学と史料および歴史教育問題のまとめ、レポートの講評

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	史料を読むために (3) 暦について	Moodle 教材を視聴、プリント内容をまとめたものと質問を作成
2	史料を読むために (5) オールヒストリー	Moodle 教材を視聴、プリント内容をまとめたものと質問を作成
3	震災と歴史	Moodle 教材を視聴、プリント内容をまとめたものと質問を作成
4	研究紹介 ミッシェル・フーコーの『監獄の歴史』『狂気の歴史』	Moodle 教材を視聴、プリント内容をまとめたものと質問を作成

科目名	PHL203: 哲学 A				担当教員	丹木 博一	
開講期	春	開講時限	火 4 限	研究室	4214	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	世界の始原への問い タレスの「水」
2	自己を形成する知の意味 ソクラテスの「無知の知」
3	プラトン『アルキビアデス』講読第 1 回 青年の自意識と野望についての吟味
4	プラトン『アルキビアデス』講読第 2 回 知っていると思うことについての検討
5	プラトン『アルキビアデス』講読第 3 回 正義と利益の関係への問い
6	プラトン『アルキビアデス』講読第 4 回 政治家に必要な条件: 心がけと知恵
7	プラトン『アルキビアデス』講読第 5 回 自分への配慮と自己自身を知ること
8	プラトン『アルキビアデス』講読第 6 回 心身関係と魂の自己認識への問い
9	生成変化をめぐる謎 アリストテレスの「可能態・現実態」
10	ストア派の倫理と「アパテイア」 中間レポートに対するコメント

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	世界の現れに潜む謎 ヘラクレイトスの「火」	moodle に掲示した資料を閲覧し、そこに記した課題を行う。
2	存在と知の根拠への問い プラトンの「イデア」	moodle に掲示した資料を閲覧し、そこに記した課題を行う。
3	自由と習慣 アリストテレスの「エートス」	moodle に掲示した資料を閲覧し、そこに記した課題を行う。
4	ヘレニズムとヘブライズムの交流へ 定期試験に対するコメント	moodle に掲示する資料および期末試験に対するフィードバックを閲覧し、授業を通して学んだことをまとめる。

科目名	PHL205: 女性と哲学 A				担当教員	上田 圭委子	
開講期	春	開講時限	木3限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	シモーヌ・ヴェイユの生涯と思想の概説と『重力と恩寵』という書物の成立について
2	『重力と恩寵』を読む① 魂を感じる下への力としての「重力」
3	『重力と恩寵』を読む② 真空とそれを満たす恩寵
4	『重力と恩寵』を読む③ 執着を断つということ
5	『重力と恩寵』を読む④ 過去および未来とのかかわり
6	『重力と恩寵』を読む⑤ 自我について
7	『重力と恩寵』を読む⑥ 神の愛と創造、授業内小テスト
8	『重力と恩寵』を読む⑦ 愛について、小テストの講評
9	『重力と恩寵』を読む⑧ 不幸と戦争による暴力について
10	『重力と恩寵』を読む⑨ 宇宙の意味について

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	『重力と恩寵』を読む 必然を愛すること	第4回授業と合わせて Moodle に講義資料と音声資料をアップロードする。
2	『重力と恩寵』を読む 悪について	第10回授業と合わせて Moodle に講義資料と音声資料をアップロードする。
3	『重力と恩寵』を読む 労働について	第1回授業と合わせて Moodle に講義資料と音声資料をアップロードする。
4	『重力と恩寵』を読む 美について	第7回授業と合わせて Moodle に講義資料と音声資料をアップロードする。

【評価方法・評価基準：変更あり】

評価方法	①小テスト 10% (Moodle 上で実施) ②毎回のリアクションペーパーの提出 50% ③期末レポート (2000字) 40%
評価基準	①講義で扱った哲学史上の基本概念を理解できているか、 ②講義資料をよく読み、また音声資料を聞いたうえで、理解した内容や、それについての自分なりの考えを、リアクションペーパーの中での確に表現し、期日内に提出できているか。 ③期末レポートにおいて、『重力と恩寵』の任意の箇所あるいは任意の女性思想家等の思想の中から自らの関心のある個所を選び、その内容を適切に理解し、言葉にできているか。

科目名	PHL206: 女性と哲学 B				担当教員	上田 圭委子	
開講期	春	開講時限	木4限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	エディット・シュタインの思想① フッサール現象学との出会いと「現象学とはなにか」
2	エディット・シュタインの思想② 主著『有限なる存在と永遠なる存在』とスコラ哲学
3	エディット・シュタインの思想③ ハイデガー『存在と時間』との対決
4	エディット・シュタインの思想④ カルメル会への入会とカルメル会の思想
5	エディット・シュタインの思想⑤ 『十字架の学問』と真理への献身の生涯
6	ハンナ・アーレントの思想① 『エルサレムのアイヒマン』と悪の凡庸さについて
7	ハンナ・アーレントの思想② 『責任と判断』の抜粋を読む
8	ハンナ・アーレントの思想③ 『全体主義の起原』の抜粋を読む
9	ハンナ・アーレントの思想④ 『活動的生（人間の条件）』の抜粋を読む
10	ハンナ・アーレントの思想⑤ 『精神の生活』の抜粋を読む

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	エディット・シュタインの思想 女性の教育論と使命論	第5回授業時に Moodle に講義資料と解説の音声資料をアップロードする。
2	ハンナ・アーレントの思想 ハイデガーとの出会いとアウグスティヌス論	第6回授業時に Moodle に講義資料と解説の音声資料をアップロードする。
3	ハンナ・アーレントの思想 レッシング論と『賢者ナータン』	第7回授業時に Moodle に講義資料と解説の音声資料をアップロードする。
4	ハンナ・アーレントの思想 ヤスパースとの友情とヤスパース論	第10回授業時に Moodle に講義資料と解説の音声資料をアップロードする。

【評価方法・評価基準：変更あり】

評価方法	①毎回のリアクションペーパーの提出 60% ②期末レポート（2000字） 40%
評価基準	①講義資料をよく読み、また音声資料を聞いたうえで、理解した内容や、それについての自分なりの考えを、リアクションペーパーの中での的確に表現し、期日内に提出できているか。 ②自らが関心を持っている哲学的な問題の一つを取り上げ、それについて、講義資料での学修を生かしつつ、自分なりに考察できているか。

科目名	REL201: 宗教学 A				担当教員	小林 宏子	
開講期	春	開講時限	木 5 限	研究室	4204	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	講義の概要と旧約聖書の基礎知識
2	創世記 2-3 章 人間の創造、禁断の実と人間の罪
3	創世記 4 章 カインとアベルの物語
4	創世記 12、15、17 章 アブラハムの召命契約の思想
5	創世記 18、21 章 信仰の試練
6	出エジプト記 1-3 章 モーセの召命
7	出エジプト記 20 章 十戒
8	サムエル記上 8 章 王たちの物語 サムエル記下 11-12 章 ウリヤの妻バト・シェバ
9	列王記上 21 章 土地の意味と王の権力アモス書 預言者の社会批判
10	イザヤ書 52-53 章 預言者の苦しみ

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	創世記 1 章 天地創造と人間の召命	テキスト pp.34-37,80-85 の講読と Youtube 【いのフェス 2013】 宮台真司×晴佐久昌英 対談(1)を視聴して課題に答える。
2	創世記 6-11 章 ノアの箱舟の物語、バベルの塔の物語	テキスト pp.90-93 の講読と Youtube 【いのフェス 2013】 宮台真司×晴佐久昌英 対談 (2)を視聴して課題に答える。
3	出エジプト記 12 章 過越祭	テキスト pp.98-99 の講読と Moodle 上の ppt を視聴して課題に答える。
4	エルサレムへの帰還、メシアニズムの成長定期試験の講評	テキスト pp.108-110 の再読と Moodle 上の ppt を見て課題に答える。

【評価方法・評価基準：変更あり】

評価方法	①用語テスト (3%×4回=12%) ②事前課題 (2%×10回=20%)、及び授業のリアクションペーパーを Moodle に提出 (2%×13回=26%) ③定期 (期末) 試験による解答 (22%) と小論文 (20%)
評価基準	①旧約聖書に登場する人物像や用語を正しく理解していること ②テキストの内容を正しく理解し、要約できていること ③テキストと授業内容を正しく理解していること、及び「旧約聖書の登場人物の中で最も興味を引く人物は誰か、また、それはなぜか」について 700~800 字の小論文を書けること

科目名	MUS201: 音楽 A				担当教員	北村 さおり	
開講期	春	開講時限	月 2 限	研究室	4号館 2階 講師控室	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	音楽の始まり：「リベラルアーツの音楽～その役割と重要性」、 中世：「抽象性と教会音楽 グレゴリオ聖歌」
2	バロック：「劇化する音楽」「オペラの誕生と器楽の興隆」
3	バロック：「市民に開かれる音楽へ」ヘンデル、バッハ
4	古典：「近代市民音楽の始まり」「ホモフォニーとソナタ形式」ハイドン
5	古典：「自己表現としての音楽」ベートーヴェン
6	ロマン派：「革命のもたらした幻滅」「憧れ、恐怖、愛と夢」「ドイツリート」シューベルト、シューマン、ブラームス
7	ロマン派：「芸術性の追求と娯楽的サロン音楽」「個性と独創性」ショパン、リスト
8	授業内試験、自己採点、解説
9	後期ロマン派：「肥大する音楽」「崩壊する調性」
10	まとめ

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	ルネサンス：「美の発見と多声音楽」	課題提出：教科書を読み、参考音源をきいて、レポートを提出
2	古典：「自由な音楽活動」「神童」モーツァルト	課題提出：教科書を読み、参考音源を聞いて、レポートを提出。
3	ロマン派：「内面世界」「性格的小品」シューマン	課題提出：教科書を読み、参考音源を聞いて、レポートを提出。
4	後期ロマン派～20 世紀：「崩壊する調性」「世紀末」「西洋からの離脱」ワーグナー、マーラー、シェーンベルク	課題提出：教科書を読み、参考音源を聞いて、レポートを提出。

【評価方法・評価基準：変更あり】

評価方法	①授業課題提出 授業内 1%×8 回=8% 授業後 3%×4 回=12% 計 20% ②授業内試験 70% ③期末レポート課題 10%
評価基準	①予習・復習を目的とした授業毎の課題を、指示に従い、授業内、または、授業後に提出する。 ②自筆ノート、提出した授業課題のみの持ち込みを可とする。教科書や配布プリントの持ち込みは禁止。テキストと授業の内容を的確に理解しているかどうか。 ③任意の作品やテーマについてのレポート提出。調べ学習にとどまらず、授業を踏まえた内容で、自身の考えを比較や考察を加えて論述すること。(引用や参考文献など、レポートの形式が整っているもののみ採点対象とする)

科目名	MUS202: 音楽 B				担当教員	北村 さおり	
開講期	春	開講時限	月 3 限	研究室	4号館 2階 講師控室	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	講義概要 オペラとは
2	オペラの成り立ち オペラとバロックの幕開け
3	モーツァルト「フィガロの結婚」発表、質疑応答、鑑賞1
4	モーツァルト「フィガロの結婚」発表、質疑応答 鑑賞2
5	モーツァルト「フィガロの結婚」 発表、質疑応答、鑑賞 3、討論
6	ロッシーニ「セヴィリアの理髪師」 発表、質疑応答、鑑賞 1
7	ドニゼッティ「ランメルモールのルチア」 発表、質疑応答、鑑賞 2
8	ヴェルディ「椿姫」 発表、質疑応答、鑑賞1
9	ヴェルディ「椿姫」 発表、質疑応答、鑑賞2
10	まとめ 総評

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	ロッシーニ「セヴィリアの理髪師」 発表、質疑応答、鑑賞2	参考資料や音源を配布。課題提出
2	ロッシーニ「セヴィリアの理髪師」 発表、質疑応答、鑑賞3、討論 ドニゼッティ「ランメルモールのルチア」 発表、質疑応答、鑑賞1	参考資料や音源を配布。課題提出
3	ドニゼッティ「ランメルモールのルチア」 発表、質疑応答、鑑賞 3、討論	参考資料や音源を配布。課題提出
4	ヴェルディ「椿姫」 発表、質疑応答、鑑賞3、討論 ワーグナーの楽劇	参考資料や音源を配布。課題提出

科目名	SOC201: 社会学 A				担当教員	李 侖姫	
開講期	春	開講時限	月 4 限	研究室	4号館 2階 講師控室	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	オリエンテーション：社会学的想像力
2	理論とは何か：社会学と科学、理論、概念、命題、仮説
3	社会学理論：①機能理論
4	社会学理論：②紛争理論、小テストの講評
5	社会学理論：③象徴的相互作用理論、小テストの講評
6	社会学理論：④交換理論、小テストの講評
7	文化：文化の特性、文化の基本的要素、文化遅滞、エスノセントリズム、下位文化、小テストの講評
8	文化と経済：プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神、小テストの講評
9	地位と役割：地位群と役割群、役割葛藤
10	社会学のまとめ

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	社会的相互作用：一次的関係、二次的関係、競争、協同、準拠集団	講義資料を moodle に載せ、課題は、穴埋めの資料をアップして、生徒が適切な語句を入れて、moodle に返送する
2	組織：官僚制の特徴	講義資料を moodle に載せ、課題は、穴埋めの資料をアップして、生徒が適切な語句を入れて、moodle に返送する
3	ネットワーク：ネットワークとは何か、紐帯の内容と強さ、密度	講義資料を moodle に載せ、課題は、穴埋めの資料をアップして、生徒が適切な語句を入れて、moodle に返送する
4	ネットワークの構造と機能：閉鎖型と開放型ネットワーク	講義資料を moodle に載せ、課題は、穴埋めの資料をアップして、生徒が適切な語句を入れて、moodle に返送する

【評価方法・評価基準：変更あり】

評価方法	1. 課題提出（5回）50% 2. テイクホームエグザム（記述式の問題：5問）50%
評価基準	1. 課題提出によって講義内容をきちんと学習し理解しているかどうかを評価する。 2. テイクホームエグザム（記述式の問題5問）を通して、社会学の基本概念と各理論、社会学用語を学習しているかどうかを評価する。

科目名	SOC202: 社会学 B				担当教員	李 侖姫
開講期	春	開講時限	月 5 限	研究室	4号館 2階 講師控室	オフィスアワー P.19 を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	オリエンテーション：社会学的視点
2	社会化：生まれか育ちか？社会階層と社会化、社会化のエージェント
3	ジェンダー：性とジェンダー、ジェンダー役割と社会化
4	ライフコース：個人の人生と歴史的出来事、社会構造との関係
5	文化と消費：準抛集団と消費、地位と消費、小テストの講評
6	企業とネットワーク：産業と企業間ネットワーク、起業家とネットワーク
7	逸脱：デュルケム、マートンのアノミー概念、ラベリング理論
8	宗教：宗教の定義、基本要素、宗教と社会秩序、宗教と近代化
9	社会変動：古典理論（マルクス、ウェーバー、デュルケム）と現代の理論
10	社会学のまとめ

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	社会調査法 1：調査過程とサーベイ法	講義資料を moodle に載せ、課題は、穴埋めの資料をアップして、生徒が適切な語句を入れて、moodle に返送する
2	社会調査法 2：実験法	講義資料を moodle に載せ、課題は、穴埋めの資料をアップして、生徒が適切な語句を入れて、moodle に返送する
3	社会調査法 3：観察法	講義資料を moodle に載せ、課題は、穴埋めの資料をアップして、生徒が適切な語句を入れて、moodle に返送する
4	社会調査法 4：文書分析法	講義資料を moodle に載せ、課題は、穴埋めの資料をアップして、生徒が適切な語句を入れて、moodle に返送する

【評価方法・評価基準：変更あり】

評価方法	1. 課題提出（5回）50% 2. テイクホームエグザム（記述式の問題：5問）50%
評価基準	1. 課題提出によって講義内容をきちんと学習し理解しているかどうかを評価する。 2. テイクホームエグザム（記述式の問題5問）を通して、社会学の基本概念と各理論、社会学用語を学習しているかどうかを評価する。

科目名	LAW211: 日本国憲法 A				担当教員	牧 耕太郎	
開講期	春	開講時限	木5限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	民主主義と立憲主義 民主主義と立憲主義の概念を理解する。
2	立法府と選挙（1） 国会の役割を知る。
3	立法府と選挙（2） 日本の選挙制度を知る。
4	行政府（1） 議院内閣制とは何か。
5	中間試験返却・解説／行政府（2） 内閣の構成員と権限を知る。
6	中間試験／司法府（1） 機構としての裁判所を論じる。
7	中間試験返却・解説／司法府（2） 違憲審査というシステムを理解する。
8	地方自治 より小さな単位で行われる立法と行政。
9	天皇・皇室 天皇・皇室の法的位置づけを知る。
10	平和主義 いわゆる9条と国際平和を考える。

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	ガイダンス・イントロダクション ：憲法とは	設問付きの配布予定資料をオンライン上で配布し、別途解答例を示す。
2	日本国憲法史 日本国憲法の成り立ちを知る。	設問付きの配布予定資料をオンライン上で配布し、別途解答例を示す。
3	統治機構概観 日本の統治機構を俯瞰する。	設問付きの配布予定資料をオンライン上で配布し、別途解答例を示す。
4	期末試験の解説・講評	オンライン上で期末試験の答案例を示し、解説・講評を配布する。

科目名	LAW201: 法学 A				担当教員	牧 耕太郎	
開講期	春	開講時限	木3限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	西洋法と東洋法 法に何を求めるのか
2	日本法の出自 日本の法は日本人が考えたのか？
3	いわゆる「神判」と魔女裁判 裁きは誰の手に握られているのか
4	法とルール of 異同 — 権利と義務 — チェスのルールと法は何が違う？
5	法と慣習 法律は「書かれている」とは限らない
6	自然法と法実証主義 法は神が作った？それとも裁判官 etc…？
7	英米法と大陸法 信頼すべきは大衆？それともエリート？
8	中間レポート返却・講評／正義論 「セイギの味方」はどんな人？
9	動物、AI、そして人 アンドロイドは「友達」になれるか
10	いわゆる「隣人訴訟」 昨日の友は今日の敵？

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	ガイダンス・イントロダクション 法学と基礎法学	設問付きの配布予定資料をオンライン上で配布し、別途解答例を示す。
2	裁判に関わる人 裁判という営みを知る	設問付きの配布予定資料をオンライン上で配布し、別途解答例を示す。
3	法と文学 夏目漱石『坊っちゃん』に潜む法的思考	期末レポートの課題とする。
4	期末レポートに対する解説・講評	オンライン上で答案例を示し、解説・講評を配布する。

科目名	EDU201: 教育学 A				担当教員	杉村 美佳	
開講期	春	開講時限	火3限	研究室	4220	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	教育学とは—教育学の諸分野—
2	人間の発達と教育（1）幼児期
3	人間の発達と教育（2）児童期
4	道徳性の発達と教育
5	子ども観・教育観の変遷（1）コメニウス・ロック
6	子ども観・教育観の変遷（2）ルソー
7	子ども観・教育観の変遷（3）デューイ
8	小括・授業内試験
9	教育の歴史—学歴主義社会の形成と生涯学習の推進—
10	総括および試験の解説

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	子どもを取り巻く社会の変化 —少子化・情報化・子どもの貧困—	テキストpp.45-49の要約・考察
2	人間の発達と教育（3）青年期	テキストpp.6-12の要約・考察
3	幼児教育の思想—フレーベル・モンテッソーリ—	テキストpp.87-88の要約およびモンテッソーリの教育思想を調べて要約・考察
4	教育の歴史（1）—戦争と教育—	テキストpp.70-72の要約および戦時下の教育を調べて要約・考察

科目名	EDU202: 教育学 B				担当教員	杉村 美佳	
開講期	春	開講時限	金3限	研究室	4220	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	教育学とは—教育学の諸分野—
2	子どもを取り巻く社会の変化—少子化・情報化・子どもの貧困—
3	学校教育の今日的課題 (1) 学力格差
4	学校教育の今日的課題 (2) いじめ・不登校
5	学校教育の今日的課題 (4) 特別支援教育
6	グローバル化と教育(1)—外国につながる子どもと国際理解教育—
7	小括・授業内試験
8	カリキュラム論—学習指導要領の変遷—
9	諸外国の教育制度
10	欧米の自由教育、試験の解説

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	学校教育の今日的課題 (3) 学級崩壊	テキスト pp.30-31 の要約および学級崩壊について調べて要約、考察する
2	グローバル化と教育 (2) 小学校の英語教育	日本の英語教育改革について調べてポイントをまとめて考察する
3	グローバル化と教育 (3) シティズンシップ教育	日本の市民教育について調べてポイントをまとめて考察する
4	教育方法論—教育方法の日米比較—	テキスト pp.58-62 の要約・考察

【評価方法・評価基準：変更あり】

評価方法	①授業時に課すリアクション・ペーパー (30%)、②授業内試験(30%)、③レポート (40%)
評価基準	①リアクション・ペーパー：論題について授業内容をふまえて論理的に考察できているか。 ②授業内試験：授業内容を理解し、設問に対して正確に答えられているか。 ③レポート：設定したテーマに即して参考文献の内容を的確にまとめ、教育事象を論理的に考察できているか。提示した書式や提出期限が守られているか。

科目名	ECN201: 経済学 A				担当教員	孫 明超
開講期	春	開講時限	月 5 限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー P.19 を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	ガイダンス 経済学の十大原理 (2) 市場と政府
2	経済学者らしく考える (2) 政策アドバイザーの立場から
3	相互依存と交易 (貿易) からの利益 (1) 機会費用と比較優位
4	相互依存と交易 (貿易) からの利益 (2) 比較優位の応用例
5	市場における需要と供給の作用 (1) 市場と競争、価格と需要量の関係
6	市場における需要と供給の作用 (2) 価格と供給量の関係、需要と供給の関係
7	需要、供給、及び政府の政策 (1) 価格規制の効果
8	需要、供給、及び政府の政策 (2) 税金の効果
9	消費者、生産者、市場の効率性 (1) 消費者余剰、生産者余剰
10	外部性 正の外部性と負の外部性、公共政策

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	経済学の十大原理 (1) 人間の意思決定	講義内容に関連する資料、動画や音声を配布
2	経済学者らしく考える (1) 科学者の立場から	講義内容に関連する資料、動画や音声を配布
3	消費者、生産者、市場の効率性 (2) 市場の効率性と失敗	講義内容に関連する資料、動画や音声を配布
4	ミクロ経済学のまとめ、期末レポートの講評	総まとめ問題集、模範事例の資料を配布

科目名	BUS201: 経営学 A				担当教員	杉山 章
開講期	春	開講時限	木 5 限	研究室	4 号館 2 階 講師控室	オフィスアワー P.19 を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	2) マネジメントとは何か？ 『組織構造と構造について』
2	3) 株式会社とは何か？ 『企業の形態、種類、コーポレート・ガバナンス』
3	4) ステークホルダーとは何か？ 『さまざまな利害関係者と企業の関係』
4	5) 企業のさまざまな戦略と組織について 『フレームワークを使ってみよう』
5	6) マーケティング：消費者は何を求めているか？ 『儲かるとは？損益分岐点を学ぶ』
6	9) 企業倫理と情報セキュリティー 『企業のあるべき姿とは』
7	10) 国際経営と多国籍企業 『グローバル企業とは何か？』
8	11) 企業の社会的責任 <サブテーマ> 『CSR、CSV とは何か？』
9	12) 持続可能な社会の実現に向けて 『SDGs と、これからの企業と社会』
10	14) 後半試験の振り返り 本講義全体のまとめ

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	1) ガイダンス、イントロダクション 『経営学って役に立つの？』	Video 教材を作成し、本講義がスタートする以前に学生がオンデマンドで視聴できるように、学修支援システム等で促す配慮をおこなう。 リアクションペーパーは Web 提出してもらう。
2	7) 第 1 回～ 6 回までのまとめ 前半試験の実施	Video 教材を作成し、タイムリーに学生がオンデマンドで視聴できるよう配慮する。 リアクションペーパーは Web 提出してもらう。
3	8) 前半試験の振り返り ブランド価値とは？	Video 教材を作成し、タイムリーに学生がオンデマンドで視聴できるよう配慮する。 リアクションペーパーは Web 提出してもらう。
4	13) 第 8 回～ 12 回までのまとめ 後半試験の実施	Video 教材を作成し、タイムリーに学生がオンデマンドで視聴できるよう配慮する。 リアクションペーパーは Web 提出してもらう。

科目名	JRN202: マスメディア論 A				担当教員	アルン・デソーザ
開講期	春	開講時限	月4限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスワー P.19を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	Introduction: ジャーナリズム・メディア・コミュニケーション
2	メディアの歴史①: 欧州圏
3	メディアの歴史②: 米圏
4	メディアの歴史③: 日本—近代
5	メディアの歴史④: 日本—現在
6	メディア理論①: メディア効果論
7	メディア理論②: メディア研究、Cultural Studies
8	メディアの現状①: 国際コミュニケーション
9	メディアの現状②: 調査報道
10	メディアの現状③: メディアの役割と責任 まとめ、総括

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	ワークショップ①: 歴史と理論	メディアに関する指定テーマについて資料を参考に、考察し、学術的に論じる。
2	ワークショップ②: メディアの役割と責任	メディアに関する指定テーマについて資料を参考に、考察し、学術的に論じる。
3	メディアの現状①: 出版、放送	メディアに関する指定テーマについて資料を参考に、考察し、学術的に論じる。
4	メディアの現状②: インターネット、SNS、ニューメディア	メディアに関する指定テーマについて資料を参考に、考察し、学術的に論じる。

科目名	JRN203: マスメディア論 B				担当教員	アルン・デソーザ
開講期	春	開講時限	月5限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスワー P.19を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	Introduction: ジャーナリズム・メディア・コミュニケーション
2	『表現・言論の自由』
3	世界・日本におけるメディア
4	アジアにおけるメディア：東南アジア
5	個別テーマ①：メディアと紛争・戦争
6	個別テーマ②：メディアと宗教・平和
7	個別テーマ③：メディアと倫理・責任
8	個別テーマ④：メディアと災害・復興
9	個別テーマ⑤：メディアと教育・養成
10	まとめ、総括

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	ワークショップ①：現代社会とメディア	メディアに関する指定テーマについて資料を読みし、考察し、学術的に論じる。
2	ワークショップ②：現代社会とメディアの総括・まとめ	メディアに関する指定テーマについて資料を読み、考察し、学術的に論じる。
3	メディアの発展	メディアに関する指定テーマについて資料を読み、考察し、学術的に論じる。
4	個別テーマ①：メディアと政治・経済	メディアに関する指定テーマについて資料を読み、考察し、学術的に論じる。

科目名	COM101: 基礎コンピューター演習				担当教員	森本 貴之	
開講期	春	開講時限	火2限 火3限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	Wordによる文書作成 (1) Wordの基本操作、基本的な文書の作成
2	Wordによる文書作成 (2) 文書の編集、書式設定等
3	Wordによる文書作成 (3) 表の作成・編集、図の挿入等、総合演習
4	Excelによる表計算 (1) Excelの基本操作、表の作成・編集
5	Excelによる表計算 (2) 関数の利用等
6	Excelによる表計算 (3) グラフの作成
7	Excelによる表計算 (4) データ処理と統計処理
8	Excelによる表計算 (5) 条件付き書式等、総合演習
9	PowerPointによるプレゼンテーション資料の作成 (1) 基本操作
10	PowerPointによるプレゼンテーション資料の作成 (2) アニメーション設定等

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	PC (Windows) の基本操作	授業運営に必要最低限の操作を第1回の授業内容に追加し、それ以外の内容については別途資料を提供して自習とする
2	PowerPointによるプレゼンテーションの実演 (1)	実演の代わりに、発表の書き起こしの作成を行わせる
3	PowerPointによるプレゼンテーションの実演 (2)	実演の代わりに、発表の書き起こしの作成を行わせる
4	PowerPointによるプレゼンテーションの実演 (3)	実演の代わりに、発表の書き起こしの作成を行わせる

【評価方法・評価基準：変更あり】

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業ごとの演習課題 (合計7回) : 55% ● 単元末の総合演習 45% (内訳: Wordを使用したレポート作成 15%、Excelを使用したデータ処理 15%、PowerPointを使用したプレゼンテーション資料の作成と発表準備 15%)
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業後ごとの演習課題: その日の授業内容がどれだけ理解できているか。 ● レポート作成: 必要な情報を収集し、適切な書式や表現でまとめられるかどうか。 ● データ処理: 様々なデータに対して、意図した処理が実現できるかどうか。 ● プレゼンテーション資料の作成と発表準備: 目的に合致した情報を収集して資料を作成し、構成と展開を考えた発表内容の準備ができるかどうか。

科目名	PSY201: 心理学 A				担当教員	奥村 桃子
開講期	春	開講時限	木2限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー P.19を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	オリエンテーション：授業の進め方 心理学概論
2	心理学の歴史
3	心理学の研究方法
4	認知心理学 認知とは？
5	パーソナリティ心理学 パーソナリティとは？
6	社会心理学 社会心理学とは？
7	臨床心理学（1） 臨床心理学とは？
8	臨床心理学（2） 心理アセスメント／心の病気Ⅰ
9	臨床心理学（3） 心の病気Ⅱ
10	臨床心理学（4） 発達障害とは？Ⅰ

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	第1回授業内試験実施 解答と解説	Moodleに課題をupする。
2	臨床心理学（5） 発達障害とは？Ⅱ	Moodleに課題をupする。
3	第2回授業内試験実施 解答と解説	Moodleに課題をupする。
4	全体のまとめ、質疑、補足	Moodleに全体まとめをupし課題を設定する。

科目名	PSY202: 心理学 B				担当教員	奥村 桃子
開講期	春	開講時限	木3限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー P.19を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	オリエンテーション：授業の進め方等 生涯発達心理学とは？
2	発達の可塑性 遺伝と環境
3	発達モデル ピアジェとエリクソン
4	認知発達の基盤 1 胎児と新生児
5	認知発達の基盤 2 胎児と新生児の実態
6	認知発達の基盤 3 乳児期
7	認知発達の基盤 4 幼児期
8	他者との関係性のはじまり 遊び
9	認知能力の生涯発達 1 学校での学習
10	認知能力の生涯発達 2 成人後・高齢期の認知能力
定期試験を実施しない Final Exam will not be held	

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	認知発達の基盤 5 幼児期の実態	視覚教材を指定し、Moodleに課題を up する。
2	第1回授業内試験 解答と解説	Moodleに課題を up する。
3	第2回授業内試験 解答と解説	Moodleに課題を up する。
4	全体のまとめ、質疑、補足	Moodleに全体まとめを up し課題を設定する。

科目名	PED100: 体育理論 (ウェルネスと身体)				担当教員	岸 秀忠	
開講期	春/秋	開講時限	(春)金 2/3 限 (秋)金 4/5 限	研究室	4号館 2階 講師控室	オフィスアワー	P.19 を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	ガイダンス、ウェルネスとは (授業概略の説明)
2	生活習慣病と健康 (生活習慣病の概要とその予防)
3	食事と健康 (必要な栄養素と食習慣)
4	身体活動と健康 (自らの身体活動の把握と必要性)
5	中間試験実施 (中間試験実施とこれまでの振り返り)
6	身体の発育発達 (身体における諸器官の発育と発達)
7	身体の構造 (骨格構造、筋肉、神経)
8	女性の身体と運動の関わり (運動における性差と性機能の関わり)
9	救急法 (応急処置と心肺蘇生法)
10	総括 (本講のまとめ)

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	健康の概念と我が国の健康づくりの施策 (日本における健康づくり施策の変遷)	日本における健康づくり施策について レポートの提出 *500 字以上 1000 字以内
2	ストレスマネジメントと健康 (ストレス障害とその予防)	ネット上にアップロードされた動画を視聴 →ミニレポート提出 *媒体は未定
3	体組成と健康 (体組成測定と肥満の概念)	ネット上にアップロードされた動画を視聴 →ミニレポート提出 *媒体は未定
4	運動トレーニング (トレーニングの種類と方法)	ネット上にアップロードされた動画を視聴 →ミニレポート提出 *媒体は未定